

①王子神社

天津の竜ヶ尾に所在。祭神は、日本武命。例祭日は11月3日。境内には幅1メートルほどの大きな石造の芋氷鉢がある。側面の銘文から、嘉永2年（1849）、芝町と城戸町の人々によって奉納されたことがわかる。裏側には2匹の獅子が浮き彫りにされた立派なものである。また、境内には天保6年（1835）の銘文のある馬頭観音を浮き彫りにした石碑がある。

②鳥居橋

昭和の始め頃までは、橋の近くに鳥居が建てられていた。昔は神仏混淆といわれ、神も仏も区別されずに一緒に信仰したため、鳥居が建てられたのであろう。清澄寺と妙見神社、天富神社のために、参道の入口に当たる坂本地区に鳥居が建てられ、それをくぐって、お参りしたのではないかとされている。

③出羽三山碑

出羽三山碑は、碑に刻まれた銘文によると安政4年（1857）、今から約150年前に、坂本村の行者が山形県の羽黒山の出羽神社、月山の月山神社、湯殿山の湯殿神社で修験した記念に建立されたといわれている。出羽三山は長い歴史と伝統の信仰ある山で、乱を鎮めて外敵・災難から守る山として沢山の人が修行を行った。明治維新の神仏分離後は、修験道は一時禁止され真言宗に帰属した。この石碑は大勢の人から敬われている。

④自性院（真言宗）

本尊は不動明王。入口には、市指定文化財「石造五大明王」がある。金剛夜叉明王、大威徳明王、軍荼利明王、降三世明王、不動明王で、全国的にも希少で本県では初めて確認されたものである。銘文は刻まれていないが、江戸時代後期の作と見られ、工芸的にも優れた作例である。また、境内には寛政6年（1794）に造立され、明治13年（1880）に改修された宝篋印塔や、安政5年（1858）の筆子塚や湯殿山・月山・羽黒山を刻した出羽三山行者の墓碑も数基ある。毎年9月28日には、「浪切不動尊火渡り祭」が行われ、煩惱を不動明王の智慧の炎で焼き尽くし、災厄を祓い清める厳かな儀式が行われ、大勢の人たちが参加し賑わっている。

⑤涕涙石

涕涙石は、昭和36年頃まで清澄登山バスの発着場所だった。この石の名前の由来には、次のような伝承がある。日蓮聖人が12歳の時、清澄寺の道善上人の弟子として入山され、日蓮聖人の母親、梅菊は、小湊からたびたび善日庵（日蓮聖人の幼名）の面会に清澄寺へ行っていた。当時、清澄は女人禁制の地であり、この涕涙石からは寺に行くことができず、善日庵は、涕涙石まで行き、梅菊と面会をしていたが、修行の妨げになるから面会にこないように梅菊に頼んだ。その言葉に涙して梅菊が下山したので、この名前がつけられたという。

⑥清澄寺（日蓮宗）

山号は千光山といい、日蓮宗大本山の一寺である。清澄寺は天台宗の円仁（慈覚大師）が中興して天台宗寺院として成立。16世紀末頃に真言宗に転じ、徳川家康・秀忠の信任を得た仲恩坊頼勢法印が再興した。本尊は、無量の知恵と福德によって人々を救うという靈験あらたかな「虚空蔵菩薩」であったが、昭和24年（1949）に日蓮宗に改宗してからの本尊は「十界大曼陀羅」である。

※ 清澄寺には、下記のとおり、国指定、県指定、市指定のたくさんの文化財がある。

国指定文化財（天然記念物）

○『清澄の大スギ』は境内にあり、通称千年杉呼ばれ、樹高は約48m、幹回りは約14.5mの巨木である。

千葉県指定文化財

○『清澄寺中門』建築年代は不明だが「清澄寺縁起」によると、正保4年（1647）に創建され、天保8年（1837）に改修されたとある。

○『清澄寺石造宝篋印塔（応永14年在銘）』 境内中庭にある。

○『清澄寺石幢（応永31年在銘）』 本堂裏山の登山道の途上にある。

○『梵鐘（明徳3年在銘）』 中門をくぐった正面にある。

○『旭森経塚遺物』 応永3年の頃のもの。旭が森山頂の工事を行った際に発見された。

○『清澄のモリアオガエル』 樹上で産卵する唯一のカエルで、県内の代表的な生息地である。

鴨川市指定文化財

○『清澄寺石造宝篋印塔（応永12年在銘）』 本堂裏山の中にある。

○『清澄寺石造宝篋印塔』 応永期頃の建立と見られる。境内の大クスの脇にある。

○『毘沙門天板碑』 応永期頃の建立と見られる。西の山の中にある。

○『清澄の大クス』 中門の近くにある。樹齢は800年以上といわれるが、未確認である。

○『木造薬師如来坐像』 宝物館に安置。像高は16cmと小像で一木造である。

○『木造如来立像』 宝物館に安置。像高は52.3mで一木造である。

○『銅造観音菩薩立像』 宝物館に安置。文永3年（1266）の陰刻があり、鎌倉期の作例。

⑦不動滝

清澄山に位置し、小櫃川の源流です。雄滝、雌滝に分かれ、落差約18m、幅約10mの滝である。不動明王が近くに祭られ、桜や紅葉など、四季折々の風情を楽しむことができる。源平合戦の時、落武者が滝に打たれて傷を癒したという伝承がある。

鴨川市教育委員会 生涯学習課 文化振興室 郷土資料館 鴨川市横渚1406-1 電話 04-7093-3800 平成23年3月
--

作図 絵図ボランティア 辰野節子